

国保東庄病院新改革プラン進捗状況について（令和元年度実績）

プランの名称	国保東庄病院新改革プラン
策定時期	平成29年3月（平成28年度）
対象期間	令和2年度まで
内部点検	令和2年5月8日（内部点検委員会）
外部点検評価	令和2年7月17日 （東庄町国民健康保険事業の運営に関する協議会）

点検・評価

第1 各項目に対する評価

1. 地域医療構想を踏まえた役割の明確化への取組

- ・回復期病床として、安全で良質な医療を継続して提供した。
- ・介護療養病床の転換にあたって、国の動向を注視しながら、今後の転換の方向性や施設基準等の確認作業を行いました。
- ・町内唯一の病院として、下記の医療機能等指標のとおり診療を行った。

目標項目	R元目標	R元実績	H30実績	H29実績
救急患者数（人）	610	536	597	558
訪問診療件数（件）	160	62	127	167
通所リハビリ件数（件）	360	326	323	325

- ・町広報紙で、病院スタッフによる医療に関する記事を掲載し、情報の発信を行った。

2. 経営の効率化への取組

(1) 医師及びスタッフの確保

- ・医師確保のため、町ホームページに求人情報や奨学金等貸付制度の目的や募集要領を掲載しPR活動を行った。
- ・千葉県国民健康保険直営診療施設協会、全国自治体病院協議会に求人情報を掲載し、医師募集を行った。
- ・看護補助者定着のために、勤務時間の要望に可能な限り対応した。

(2) 地域医療連携体制の強化

- ・香取海匠地域保健医療連携・地域医療構想調整会議を傍聴し連携体制の情報収集に努めた。
- ・基幹病院である旭中央病院からは外来診療医師の派遣を受け、また、当院の医師は旭中央病院で研修を受け医療技術の向上に努めた。
- ・旭中央病院を中心に近隣病院等と患者の紹介・逆紹介を行った。
- ・膠原病専攻の常勤医師によるリウマチの外来診療を行った。
- ・整形外科専攻の常勤医師による整形外科外来診療を行った。

(3) 病床利用率の向上

- ・令和元年度 病床利用率 62.3%

(4) 診療報酬請求の適正化

- ・他部署と連携し検査、処置等での請求漏れを防止した。
- ・研修会等の内容を職員間で情報共有し、請求の適正化に努めた。

(5) 経費の削減

- ・消耗品等の購入先を見直して、安価な物を購入するように努めると共に、適正な在庫を考慮して購入するように努めた。
- ・使用量の少ない薬品や返品が不可能な薬品は、包装錠剤数の少ないものを購入するように努めた。
- ・使用期限の近い薬品から使用するよう徹底した。
- ・複数の業者から見積もりを徴取して、一番安価なところから薬品を購入した。
- ・薬品を積極的に後発医薬品に切替えた。
- ・患者の残薬を確認し、医師へ処方箋投薬日数の提言をおこなった。

(6) 未収金対策の推進

- ・月末に未収が無いか確認し、未納者に電話催促をした。
- ・支払期日を定め、訪問徴収を行った。
- ・分割払いの相談に対応した。

3.再編ネットワーク化への取組

- ・香取海匝地域保健医療連携・地域医療構想調整会議を傍聴し情報収集に努めた。

4.経営形態の見直しへの取組

- ・今後の経営状況を鑑み検討を進める。

5.点検・評価・助言（東庄町国民健康保険事業の運営に関する協議会）

新改革プラン目標達成のもっとも基礎となる医師確保対策については、県、町等関係機関と緊密に連携するとともに、積極的な広報にも努め、引き続き最重要課題として取り組んでいただきたい。

加えて令和2年度は、現新改革プラン計画期間の最終年度に当たることから、実績をしっかりと踏まえたうえで、地域の実情に応じ、今後増加が見込まれる慢性期の医療及び介護ニーズに対応できる、時期新改革プランの策定に当たっていただきたい。